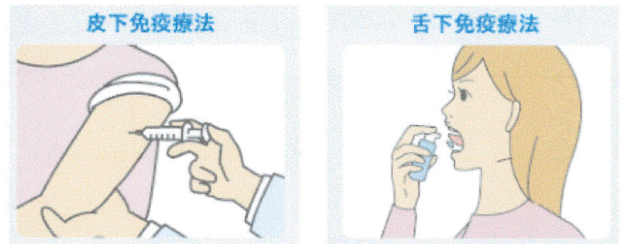


免疫と予防接種のおはなし (10) スギ花粉症の免疫舌下療法について

ご無沙汰しました。新型コロナウイルス感染が終息するまで、まだ気の抜けない最近ですが、今月の話題はスギ花粉症です。花粉症のピークが過ぎた今頃になって何故？とお考えの方もおられるかもしれません。実は、花粉症の治療=舌下免疫療法を始めるにはこれからが最適な時季なのです。

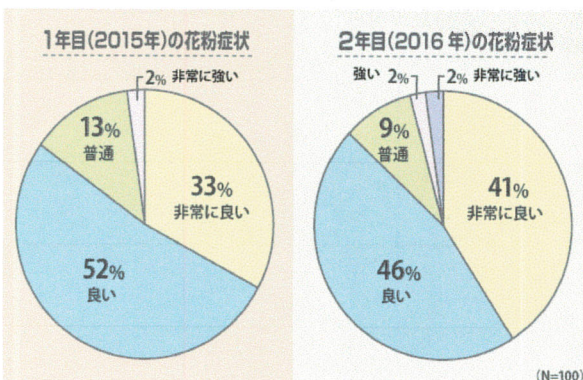
【舌下免疫療法とは？】アレルギー性鼻炎（スギ花粉症を含む）は、アレルゲンと呼ばれる原因物質（ダニ、スギ花粉など）によって引き起こされます。舌下免疫療法とは、その患者さんのアレルギーの原因となっているアレルゲンを繰り返し投与することにより、体をアレルゲンに慣らして症状を和らげる治療法です。長期寛解につながる根本的な体質改善も期待されます。従来はアレルゲンエキスをごく少量ずつ皮下に注射する皮下免疫療法が一般的でしたが、舌下免疫療法はアレルゲンを口腔内（舌下）に投与する治療法で、現在、スギ花粉症とダニアレルギー性鼻炎に対して行われています。



【どんな治療でしょうか？】舌下免疫療法を始めるためには、まず問診と血液検査でアレルギーの原因（アレルゲン）を確かめます。スギ花粉に対する特異的アレルギーをもつ患者さんだけが治療の対象になります。治療は、1日1回舌下に薬剤を投与します。投与後は1分間舌下に薬剤を保持し、その後唾液とともに飲み込みます。投与後5分間はうがいや飲食を控えます。また、投与前後2時間程度は副作用が出やすい時間帯ですので、入浴や激しい運動を避けてください。初回投与（1日目）は院内で行い、その後30分間は医師の監視下で待機していただきますが、2日目以降は、毎日、自宅で患者さん自身が投与します。治療期間は2年以上、3～5年が推奨されています。なお、当院への通院が難しい場合や治療途中で転居しなければならなくなった場合は、近くの医療機関をご紹介して治療を続けることもできます。

【有効性と安全性について】スギ花粉症の舌下免疫療法の有効性・安全性については種々の報告がありますが、おおよそ8割前後の患者さんで鼻や目の症状やアレルギー治療薬の使用量がおさえられることが認められています。副作用としては投与部位である口腔内の腫れ、痒みなどが最も多くみられます。特に、投与後少なくとも30分間、投与開始初期のおよそ1ヵ月間などは注意が必要です。これらの副作用は投与後数時間で自然に回復することが多く、またアレルゲンに慣れるに連れて起きにくくなりますが、

症状が長時間または長期間持続する場合は、医師に相談してください。また、従来の皮下免疫療法と比べて頻度は格段に低下しましたが、アナフィラキシーなど重篤な症状が起こる可能性もあります。アナフィラキシーと考えられる症状が発現した際は、直ちに医療機関を受診してください。以上の通り大変根気のいる治療ですが、根本的な体質改善（長期寛解・治癒）をお望みの患者さんは、是非当院にご相談ください。



出典：永倉仁志 (2017)